

9月1日は「防災の日」、防災意識の高まった

今こそ災害への備えを考えよう！



9月1日は「防災の日」、日本の記念日です。

この「防災の日」は、1960年内閣の閣議了解により「政府、地方公共団体等関係諸機関を始め、広く国民が台風・高潮・津波・地震等の災害についての認識を深め、これに対処する心構えを準備」「災害への備えを怠らないように」と戒めも込められて制定されたもので、この日を前後して、全国各地で防災訓練が行われます。なぜ9月1日が「防災の日」となったのかは、1923年9月1日に発生し、死者・行方不明者10万5千人とも言われている関東大震災(M7.9)にちなんだものですが、制定の前年(1959年)には伊勢湾台風が襲来したなど、丁度9月1日頃には例年台風の襲来が多いことから自然災害に備える「防災の日」にふさわしい日になっています。

現在、今年3月の東日本大震災が発生し、日本全体で防災意識が大変高くなっており、今こそ災害への備えるチャンスであり、備えなければならない時です。

JR東海の姿勢は社員の安否より運行優先??

私たちのJR東海では、これまで、災害発生時等の社員の「安否確認」は会社が行っていましたが、先日、会社掲示板に「災害発生時における社員等安否確認について」と題された掲示物が貼り出され、これまでの会社が行っていた「安否確認」を社員自らが会社へ「安否確認」を報告するという体制に一方的に変えてきました。社員自ら会社に「安否状況」を報告させるということから、ある意味で社員のプライベートな時間まで会社の管理下におこうとしています。これも一つの防災意識の高まりのようと言えるかもしれませんが、列車を運行するためには、乗務員や駅係員等の確保が重要で、そのための「安否確認」と考えられます。(会社がこの社員の「安否確認」の方法を変えようとする背景には、東日本大震災時に乗務員の確保が出来なかったためとも言われています。)なにがなんでも運行優先・営利優先の会社の姿勢は、会社の社員に対する姿勢からも伺えます。

私たちの職場は災害への備えが出来ているのか??

一方、社員が労働時間中に災害が発生した場合、私たちはどうなるのでしょうか、職場で私たちの安全は守られるのでしょうか、例えば大地震が発生した場合に職場の建物は大丈夫でしょうか、避難方法を知らされていますか、避難場所を知っていますか、けが人が出た場合に応急処置を施せる社員が、24時間職場にいますでしょうか、皆さんどう思われますか？



私たち大阪修繕車両所分会は、災害への備えの一つとして、労働時間中に職場で災害にあった場合、私たちの鳥飼基地で安全が守られるかどうか、備えは出来ているのか、等々について申し入れを行いました。 【裏に申し入れを掲載】

2011年9月1日

JR東海労
新幹線関西地本
執行委員長 小林 國博殿

JR東海労
大阪修繕車両所分会
分会長 板東 貞男

防災に関する申し入れ

日本は、1995年阪神大震災以降、地震の活動期に入ったと言われており、日本各地で火山噴火や比較的大きな地震が多く発生しています。そして今年3月には、かつて経験したことがないような巨大地震・東日本大震災が発生しました。

今年5月、菅直人首相の浜岡原発全面停止要請をめぐる発言でも明らかな通り、東海地震の発生確率は大変高く、危惧されておりますが、東海地震が発生すると連動して東南海・南海地震も発生する可能性が高いと言われており、私たちの関西圏にも甚大な被害が出るのではないかと心配されます。

地震に対しては、日頃の備えと訓練が大事ですが、私たちの鳥飼基地は大丈夫か、職場で働く社員の安全は確保されるのか、防災の日を機に申し入れを行います

従って、会社と協議の上、問題があれば改善するべく会社への要望をお願いします。

記

1. 16年前の阪神大震災、3月11日の東日本大震災を受けて、改めて日ごろからの災害に対する防災の備えや訓練が大事であると認識されたが、会社の防災に対する考えを明らかにされたい。
2. 鳥飼基地の各建物の耐震性の問題について
 - ・修繕のワーキングルーム、臨修庫、研削庫、鳥飼基地周回道路跨線橋、等々建物及び設備の耐震性について明らかにされたい。
 - ・仕業庫や台検庫などは耐震補強されているようだが、いくらの震度まで耐えるのか明らかにされたい。また、仕業庫各番線のローソクの耐震性についても明らかにされたい。
3. 災害時の対応は確立されているのか明らかにされたい。
 - ・地震時及びゲリラ豪雨や集中豪雨、台風など自然災害時の災害別の対応マニュアルは整備されているのか明らかにされたい。
 - ・災害時に帰宅困難者が出た場合どのような対応をするのか明らかにされたい。
4. 防災教育等について
 - ・防災教育等の講習等は実施されているようだが、防災教育等の講習を受けた社員は、修繕車両所でどのくらいの社員がいるか明らかにされたい。
 - ・救命処置等の講習等は実施されているようだが、救急処置等の講習を受けた社員は、修繕車両所でどのくらいの社員がいるか明らかにされたい。また、夜勤時間帯に救急処置等の講習等の受講者が常駐しているかどうか明らかにされたい。
 - ・全社員を対象にした避難訓練又は防災関係の講習等の予定はあるのか明らかにされたい。
 - ・AEDの設置基準及びAEDの設置状況を明らかにされたい。また、今後、設置する予定を明らかにし、AEDの取扱いや講習を全社員対象に実施されたい。